

災害対策委員会からのお知らせ2020年度No.3

安否確認の予行演習のご参加ありがとうございました。

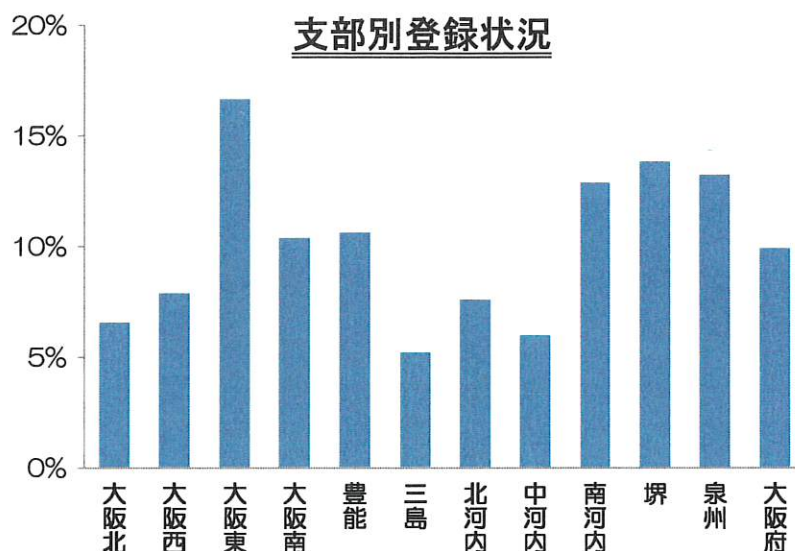
令和2年9月4日実施

会員の皆さまの安否確認の予行演習を、9月4日(金)「大阪880万人訓練」時に、日本歯科衛生士会ホームページ「安否確認練習画面」を活用し実施しました。(日本歯科衛生士会安否確認練習は9月1日～7日)

今年度の安否確認登録者は101名で、会員の9.9%の参加でした。支部別の登録状況はグラフの通りです。

災害発生時は、登録いただいた状況から皆様の安否確認とともに、大阪府下の被災状況を把握させていただくことができます。それにより、大阪府や大阪府歯科医師会と情報共有し、速やかに災害支援準備や活動内容を決定する情報となります。

今回参加できなかった方は、次の機会にぜひご参加・ご協力をお願いいたします。



今回ご利用いただいた、日本歯科衛生士会ホームページ安否確認は、災害発生時に利用が可能です。また、大阪府歯科衛生士会ホームページからも会員の皆様の安否確認ができるようにいたします。さらに、地域や職域での連絡方法も検討中です。

災害発生時に、会員の皆様の状況把握や、歯科衛生士が府民の方々の支援に迅速に対応できるよう今後も整備を進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

災害が起きたとき、大阪府歯科衛生士会に どうして安否確認の連絡をしないといけないの？

大阪府下での大規模災害発生時、本会は、会員の皆様の安全確保を最優先事項としています。次に、皆様の安否確認状況の報告から大阪府下各地域の被害状況を把握し、速やかに災害支援活動に繋げていきます。災害時により早く行動をおこすため、安否確認練習を平時より繰り返し行っていきますので、主旨をご理解いただき、ご協力よろしくお願いします。

災害が起きたとき、できることってなんだろう・・・

避難生活が長期化すると、偏った食生活やストレスなどが原因で、う歯や歯周病、口内炎、智歯周囲炎、口臭など口腔内の問題が生じやすくなります。また、避難所生活では口腔の衛生状態を保つのが難しいことも一因となって、特に高齢者で肺炎などの呼吸器感染症が増える危険性があります。そこで歯科衛生士も歯科保健医療関係者と連携を取り各所で口腔健康管理の支援と、多職種と疾病予防・重症化予防につとめます。

例えば

- 1) 歯ブラシ・歯間ブラシを使っ
ての刷掃指導
- 2) 偏食になりがちな児童へ
食事指導
- 3) 高齢者への
義歯管理指導
補水指導
- 4) パンフレットなどを
用いた集団への啓蒙活動



大規模災害発生時における口腔ケア活動の意義と実際（東京医科歯科大学）引用

まずは 災害支援歯科衛生士登録！！

登録は毎年9月更新です（登録・解除はいつでも可）